

第15回勝山市生活交通地域協議会 会議録要旨（令和元年度 第2回）

1.開催日時：令和2年2月17日（金）14時40分～15時10分

2.開催場所：市民会館 3階 第1会議室

3.出席委員：敬称略

委員	福井大学 教授	野嶋 慎二（座長）
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局	江口 郁雄
	首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）	（代理 三屋 雅宣）
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局	吉留 俊郎
	運輸企画専門官（輸送・監査担当）	
	福井県地域戦略部 交通まちづくり課	西野 光
		（代理 市橋 章）
	奥越土木事務所 勝山維持管理課長	鈴木 常仁
	勝山警察署 交通課長	高原 嘉之
	勝山市高齢者連合会 代表	松下 文男
		（代理 木下 潔）
	えちぜん鉄道株式会社 営業開発部 部長	佐々木 大二郎
	京福バス株式会社 取締役	矢部 良智
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	竹田 幸弘
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦
	勝山市副市長	水上 実喜夫（会長）
	勝山市教育部長	谷口 文弘
	勝山市建設部長	木下 秀樹
	勝山市産業・観光部長	山本 典男
	勝山市健康福祉部長	谷出 雅博
	勝山市総務部長	伊藤 寿康
事務局	勝山市市民生活部市民・環境・税務課課長	河野 誠
	主任	森 弘章
	主査	林 賀代

4.欠席委員：勝山市区長連合会会長 杉平信夫、勝山市民生委員児童委員協議会会長 竹内芳昭、
福井県交通運輸産業労働組合協議会 嶋田 久則

5.傍聴人の数：1人

6.議題 (1) 令和元年度勝山市生活交通確保維持改善計画の自己評価

7.会議資料

資料 1 令和元年度勝山市生活交通確保維持改善計画の自己評価

8.議事等内容

(1) 令和元年度勝山市生活交通確保維持改善計画の自己評価

- 座長 事務局の説明についてご質問等があればお願いします。
- 委員 勝山大野線の高校入学説明会において、利用促進を行うということで、事業者としてしっかりご案内させていただきたいので、同行させていただければと思っています。
- 事務局 ご協力お願いいたします。
- 委員 OD 調査について、いつどのくらいの期間でされたのか。
- 事務局 12月上旬、2日間、時間帯は9時から夕方5時くらいの間を調査した。
- 委員 高校生に的を絞って対策を行うということは的を得ている。勝山から大野方面の高校へ通学している高校生の数でバス利用者の増加が見込めるのか、見込めないのか。
- 事務局 勝山から大野へ通学している人数を把握していないためそこまで検証しておりません。
- 委員 そういったことを含めて今後の対策を検討していただければと思います。よろしくお願いします。
- 座長 母数が分かれば対策もしやすいと思いますので是非ともお願いします。大野から勝山へ行かれる方もいるのか。
- 事務局 勝山市民の方で大野の遊興施設に通われている方、大野市民の方で勝山病院への通院されている方や、お見舞いに来られる方もいらっしゃいました。それなりに両市の市民の方の利用があることが分かった。
- 座長 令和元年度の取り組みの効果について教えてください。
- 事務局 バスの乗り方教室では利用者の声が直接お聞きして、公共交通を少しでも利用していただけるようにお話できたことがよかった。自主返納については年々窓口で申請に来られる方も増加しており、その都度窓口にてバスの時刻表などを配布、説明し、公共交通の利用促進に努めている。
- 座長 いろいろなご意見をいただきましてありがとうございます。それでは事務局より提案のありました令和元年度勝山市生活交通確保維持改善計画の自己評価についてはよろしければ拍手をお願いいたします。
- 一同 承認

(2) その他

座長
委員

その他に何かございますでしょうか。

口頭で1点報告させていただきます。国土交通省では全国でバス停留所の安全性確保対策でバス事業者を通じて調査をお願いしているところ。経緯は平成30年8月に神奈川県横浜市でバス停留所の後ろに横断歩道があり、バスを降りた子どもが横断歩道を渡ろうとしたときに対向車線の車にひかれるという事故が起き、そういったバス停が全国に441箇所あることが報道され、それを受けて国土交通省が全国的な調査を実施しているところ。

どういったバス停が調査対象かという、交差点、横断歩道がバスの車体がかかる停留所。横断歩道の前後で新設したバス停など安全対策が必要と思われるバス停の調査をお願いしているところ。

今後全国でリスト化して公表する予定になっている。

指摘されたバス停については今後安全点検や安全上の優先度を判定し、安全対策を検討していくことになる。

今後勝山市のコミュニティバスの停留所についても、安全性の対策が必要なバス停留所として上がってくる可能性もありますので、もし該当場所があれば皆さんのご意見を伺いながら、対策を考えていきたいので、よろしくをお願いします。

座長

貴重な情報をいただきまして、ありがとうございました。この件について、何かご質問等ございますか。ないようでしたら、最後に傍聴の方からご感想やご意見がございましたら、お願いいたします。

傍聴人

本日は参加させていただいてありがとうございました。私が妊産婦のバス無料乗車券を提案させていただいた理由は昨年、妊産婦さんが2名交通事故で病院に搬送されてきました。妊産婦さんはぼーっとしやすい、つわりで辛いとか、おなかが張っている状態で運転という精密機械の操作に不向きな面もある。海外のデータですが妊娠の中期5ヶ月から6ヶ月の妊婦さんが普通の人と比べて1.4倍くらい交通事故の確率が上がる。そういうことも含めてご担当者様に相談をさせていただき、このような提案をさせていただきました。ご尽力いただいた方々に大変感謝しています。

座長

専門的な立場からご意見を言っただけだと政策にも価値が出ると思います。ありがとうございました。今のお話について何かがご質問等ございますか。

委員

妊産婦さんの話でコミュニティバスによってはかなり混み合っ、立ち席になる場合があるが大丈夫なのか。

傍聴人

妊婦さんだから席の譲り合い等があれば一番良いと思われる。おっしゃ

るとおり、不安がないわけではないが、バスの乗客で死亡事故は起きづ
らい。立つリスクはあっても死亡事故を減らすという意味で実施する価
値があると考えます。南部線、中部線を除く便はシートベルトがついて
いることもこういう事業はしやすいと考えます。

会長

公共交通機関で弱者に席を譲り合うというのは当然のことなので、事業
スタートにあわせてそういった啓発も必要であれば行っていきたい。

座長

他になれば、これで第 15 回勝山市生活交通地域協議会を終了させて
いただきます。ありがとうございました。